

令和2年度 伊集院中学校グランドデザイン

育てたい4つの心
 ◆思いやりの心
 ◆感謝の心
 ◆振り返りの心
 ◆勤労の心

学校は教師にとって
「教育活動実践の場」

学校は生徒にとって
「学習の場」「楽しく安全な場」

学校は保護者にとって
「子どもの教育を託す場」

3つの心得
 ◆元気なあいさつ
 ※ 語先後礼
 ◆時間厳守
 ◆無言清掃

学校教育目標

思いをめぐらし、自ら考え、判断し、他者と協働できるたくましい生徒の育成

地域人として生きる

◆地域生きる一人として地域の先人を敬愛し、地域に貢献しようとする態度を育む。

校訓

「美（うるわ）しき魂」

～ 正しく、直く、潔き真の心を持っている者

常に真の心を失わず、偽らず、すべてのことにあたること

人としてあるまじき行いに、直ぐ潔きものと姿にたちかえること

五教訓

勉学（自ら深く学ぶ）**敬愛**（自他共に愛す）**自治**（役割と責任を果たす）
協同（互いに認め合い、力を合わせる）**気魄**（心身を鍛え粘り強く生きる）

めざす保護者像

- 子どもと語り、共に学ぶ保護者
- 規範意識を身に付けさせる保護者
- 基本的生活習慣を身に付けさせる保護者
- 自らの姿をもって生き方を示す保護者

めざす教師像

- 心身ともに健康で人間性豊かな教師
- 教育公務員としての自覚を持ち職務に励む教師
- 常に研究と修養に励み自己向上に努める教師
- 深い愛情と生徒理解に立って指導する教師
- 生徒・保護者・地域から信頼される教師

めざす地域像

- 安全安心な環境がある地域
- 先輩や先人に学ぶ場がある地域
- お互いにあいさつが飛び交う地域
- 生徒を励まし育てる地域

学校スローガン（幸せになる）

夢（目標）という種をまき、
 努力という水をやり、
 愛（励まし）という肥料を与え、
 満足という花を咲かせる

めざす生徒像

- 思いやりの心を持ち、友達と協力できる心豊かな生徒
- よく考え、（自ら判断し）、正しいことができる生徒
- 目標を持ち、意欲的に進んで学習する生徒
- （困難にも立ち向かい）粘り強く、最後まで頑張り抜くたくましい生徒

キャッチフレーズ（合い言葉）

- さわやかなあいさつ（心を込めて）
- 元気に登校（気魄をもって）
- 笑顔で下校（充実感をもって）

めざす学校像

- 明るく、誠実で活気のある、楽しい学校
- 落ち着きと秩序のある、きれいな学校
- 生徒一人一人の思いや願いを大切にする学校
- 生徒、保護者や地域から信頼される学校

1 学力の向上

- 学習意欲の向上と学習習慣の確立（進路の実現）
 ※ 授業につながる家庭学習の実践（今週の一問の効果的活用、実になる課題）
- 「わかる」「できる」「使える」「生かせる」の授業実践
 ※ 「学び」が、よりよい生活や生き方に生かせるように
- 指導法の工夫・改善と魅力ある授業の展開
 ※ 論理的思考の構築につながる指導法の工夫（聞き合い・語り合い）
 ① 一人一人に寄り添った支援（少人数・習熟度別）
 ② 教育機器等の活用（ICT機器の効果的な活用）
- 教職員の資質向上
 ① 職員研修の実施（教科の枠を超えた相互授業参観とワークショップ型授業研修の推進）
 ② 指導技術の向上（道徳科の授業づくりと評価の在り方の研究推進をおとして）
 ③ 研究実践への挑戦（更なる学力向上に向けた研究・実践）
 ※ 主体的・対話的な深い学びの実践に向けて

各種学力調査平均通過率全国・県平均以上

ノーメディアデー（タイム）の推進

家庭学習時間「1年90分、2年120分、3年150分」達成率80%

家庭学習強調期間 達成率80%

2 生徒指導の充実

- 校内指導態勢の充実と確実な情報交換及び全職員（チーム）による共通理解と共通実践
- いじめ、不登校、問題行動等への的確な対応と指導
 ① いじめ実態調査の確実な実施と適切な管理（年5回の実施と公表）
 ② いじめ問題への組織的対応と見届けの徹底
 ③ 不登校生徒一人一人に寄り添い、思いを届ける組織的対応
 ④ ネットトラブルやネット依存防止への取組（外部機関との連携）
 ⑤ 保護者及び関係機関を交えた諸課題の協働的解決
- 家庭・地域・関係機関との緊密な連携の強化
- 積極的生徒指導の充実
 ① 県自転車安全条例への対応（ヘルメット及び保険の加入）
 ② 無言清掃（自分との向き合う）と語先後礼（礼儀）の実践
 ③ 行事を通じた「振り返り」と「学び」の実践

いじめ問題見逃しゼロと100%の解決

自転車保険加入・ヘルメット購入 100%（自分の身は自分で守る）

目指せ あいさつ 日本一（立ち止まり、自ら、笑顔と大きな声であいさつ）

不登校生徒新規出現率ゼロ%

3 「豊かな心と健やかな体」の育成

- 道徳及び学級活動を通じた体験的学習の充実
 ① 「考え、議論する道徳」の実践と評価の研究
 ※ 担任、副担任等による学年ローテーション授業の実施
- 「ひおき学」の充実（ひおき検定）、うるたま検定の実施
- 生徒会活動の充実
 ① 自治的活動（気付き、考え、実行する）の充実・実践
 ② ボランティア活動の推進「美魂（うるたま）クラブ」開始
- 読書活動の充実（読み聞かせやピリオバトル等の挑戦）
- ガイドラインに沿った適切な部活動の運営
- 「食育」、「歩育」、「眠育」の推進
- 清掃活動及び校内緑化と設営の充実

う歯治療率 80%の達成

歩いて1km登下校の推進

心に届く掲示物

朝食摂取率 100%

平均読書冊数 40冊

4 「開かれた学校づくり」

- 家庭、小学校、地域、関係機関との緊密な連携の推進（外部講師・地域資源の活用促進）※ C・Sに向けての協働体制の確立
- 三大行事（妙田寺詣り）への積極的参加と地域貢献
 ※ 妙田寺詣り等、地域に貢献できるキャリアパスポート活用
- 学校からの積極的情報発信
 ○ 南日本新聞等「若い目」への応募（NIEの実践）
- 学校評価等の充実（PDCA）
 ・ 教職員：学期末学校評価等
 ・ 生徒・保護者・教職員による「学期振り返りシート」の活用（共に振り返り、今後に生かす！）
 ・ 学校評議員委員による学校評価（道徳の授業への参加）

思いを届ける各種だよりの発行

世界へ発信 我が母校「HP更新（1回/月）」

生徒、学校、地域が輝く（新聞掲載・TVへの紹介）

郷土愛を育む地域・社会教育関係行事等への参加